品質カイゼン室の花のソコが知りたい！

ＬＡ ユリ編

前回、ユリ（分類）編にて
ユリにはたくさんの種類があり、由来や日本への来歴について
知っていただけたと思います。
今回はLAユリの栽培についてご紹介していきたいと思います。

LAユリ　Ｌ：ロンギフローラム　×　Ａ：アジアティック

Ｌ：ロンギフローラム（テッポウユリ）とＡ：アジアティック（スカシユリ）は遠縁であるため

受精不可

胚が出来ない！

花粉管が伸長を途中で止めてしまう

胚乳未発達

胚乳：（胚にとっての栄養素）
受精出来ても胚乳が形成されず、
胚が致死

などの問題が発生し、自然交配ではＬＡユリは生まれません。

胚の栄養である胚乳が育たないのであれば**栄養満点の培地を用いて胚を育ててしまおう！**とのことで

胚培養した結果、作出されたのがLAハイブリッドなのです。

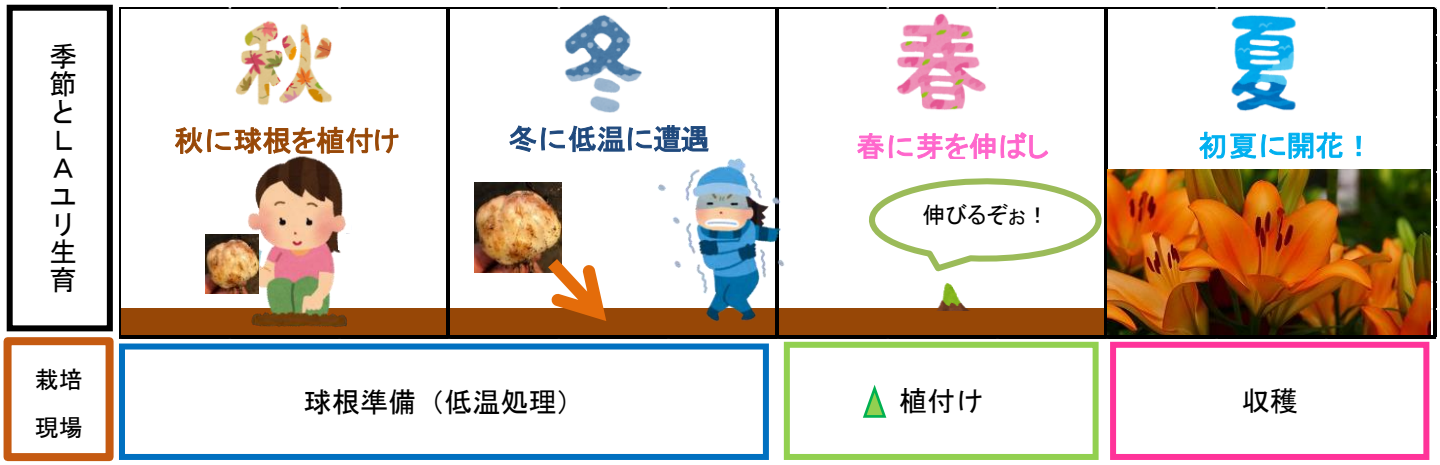
花型はテッポウユリ型とスカシユリ型がありますが、現在多く流通しているのはアジアティック（スカシユリ）型でスカシユリよりも花らい（蕾の大きさ）が大きく、ボリューム感があり、花色が豊富なのが魅力です。

LA：イエローダイヤモンド

LA：ザネラ

LA：パーティダイヤモンド

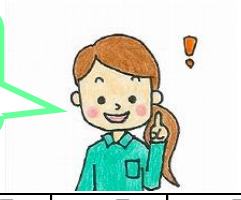
ユリの生育



通常、季節とＬＡユリの生育の関係として、秋に球根を定植、**冬の低温に遭遇**、春に発芽、花茎をのばし、花芽を発達させ、５月中旬から６月上旬に開花します。

この流れを栽培現場では球根準備（低温処理等）植付け・遮光や加温等を行うことで環境を整え、収穫し、周年出荷を可能としています。

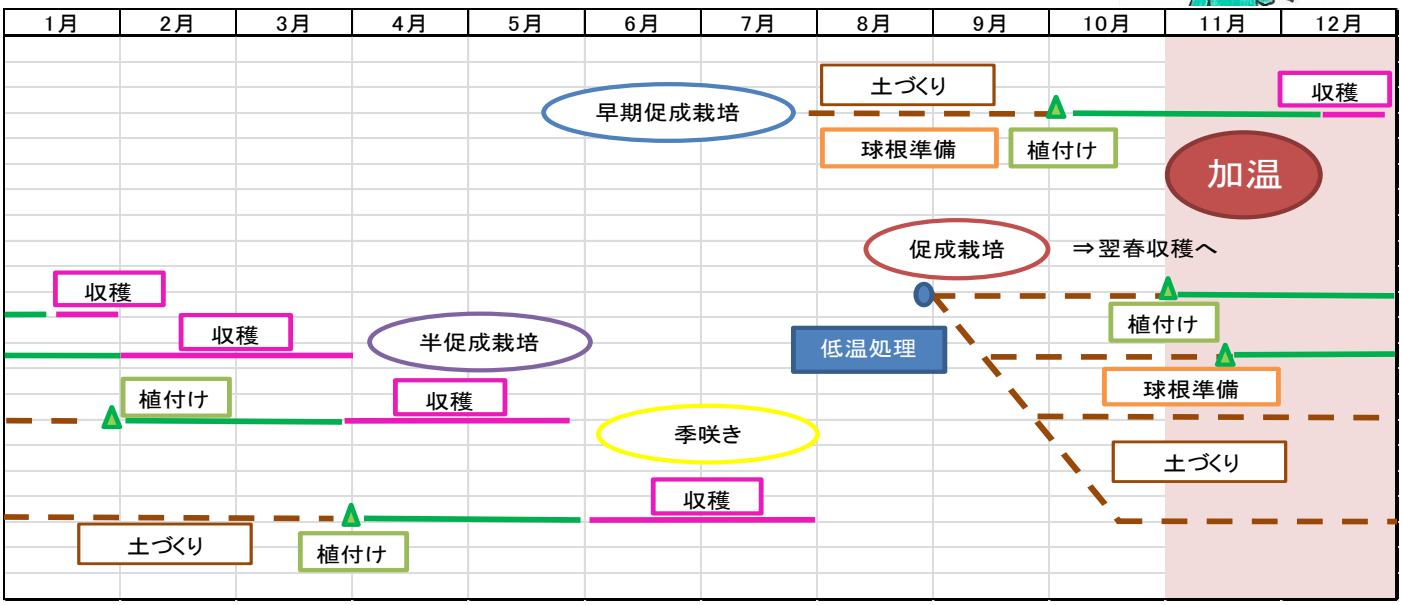
つまり、開花するためには
❄ **寒さ** ❄ が必要なのですね。



栽培歴

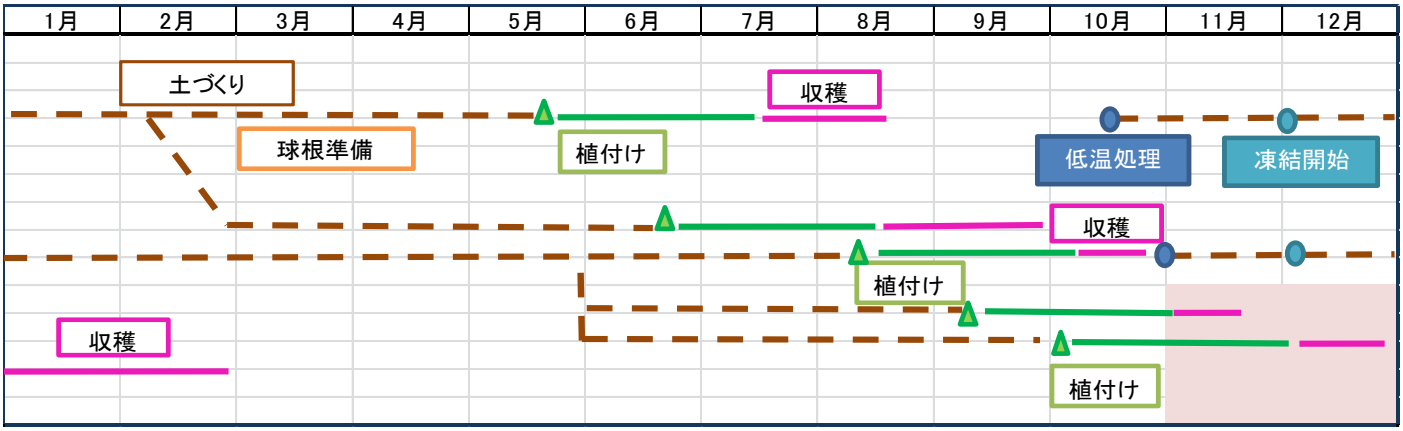
促成栽培

（4～7 月, 12～5 月収穫）



抑制栽培

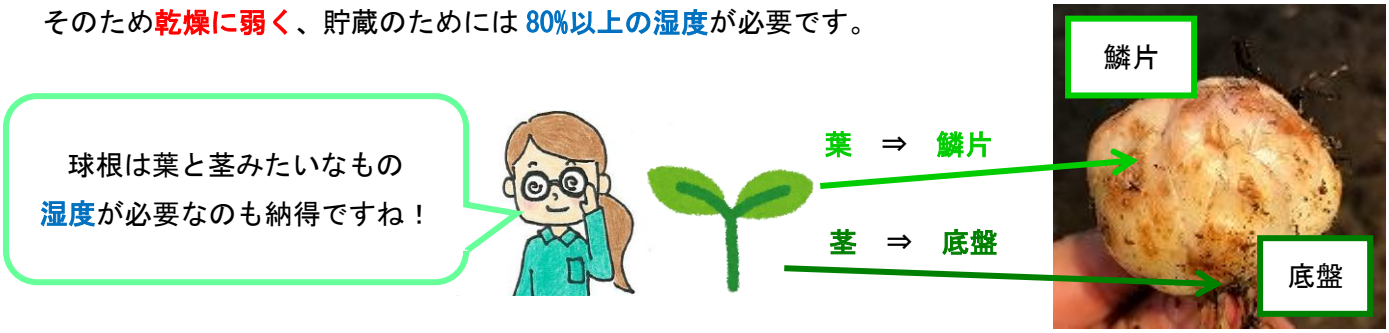
（7～5 月収穫）氷温貯蔵球根を用い、植付けのタイミングで出荷時期をずらします。



※ここでの低温処理は凍結にむけての馴化処理です。

球根

　そもそも球根とは短縮して扁平になった底盤とよばれる茎に葉が変形・肥大した鱗片がうろこ状に重なりあっているもので種子と違い外皮に包まれていません。
そのため**乾燥に弱く**、貯蔵のためには**80%以上の湿度**が必要です。



LA ハイブリッドの球根

促成栽培の場合、低温処理済の球根はそのまま植付けします。⇒**植付けへ**！

抑制栽培の場合、特に夏場の高温障害防止のため芽伸ばし処理を行います。

抑制栽培

球根貯蔵のようす　LA ユリは-1.5℃から-1.0℃で貯蔵されます。

氷温貯蔵されている球根を冷蔵庫にて解凍します。

抑制栽培　芽伸ばし（氷温貯蔵・夏場）

夏場において氷温貯蔵している球根を出庫・即植付けすると、地上部と根部の生育スピードとの間でバランスが取れなくなり、発育不良による生育障害が発生していまいます。
その障害を防止するため、8～10℃・20～30 日間、湿度に注意しながらゆーっくり成長させていきます。

植付け

いざ圃場へ！**低温処理**で**冬**を体験した球根たちの気分は**春**！すくすく成長していきます！

品種・球根
のサイズに
合わせた栽植密度

球根と球根の間を
きちんと計測！

覆土も
高温期は厚めに
低温期は薄めに

栽培にベストな気温

昼温
20℃

夜温
10℃

春から夏のような
環境づくり

高温期は地温を下げるため
遮光

夜温が10℃以下になる場合
加温

20,000Lux
以上の照度

光不足だと

茎の徒長・軟弱化
花飛び

の恐れがあります。

収穫！

収穫されたユリたちは調整作業・8℃の冷蔵庫内にて予冷と水揚げをして出荷されます！

圃場での注意すべき病害

ウィルス

LMoV（ユリモットルウィルス）
CMV（キュウリモザイクウィルス）
ASGV（リンゴステムグルービングウィルス）
LSV（ユリ潜在ウィルス）
TMV（タバコモザイクウィルス）
PAMV（オオバコモザイクウィルス）

糸状菌（カビ）

葉枯れ病（*Botrytis elliptica*）
白絹病（*Sclerotium rolfsii*）
軟腐病（*Erwinia carotovora* subsp.）
疫病（*Phytophthora cactorum*）
茎腐症（*Rhizopus* 属菌）

栽培環境はパンデミックが起こりやすい環境です。そのため薬剤散布や通風を良くする、ウィルス病の媒介者であるアブラムシの防除や採花に使用する刃物の殺菌をするなど病気を引き起こさせない環境づくりが必要とされます。

主な生産地

埼玉県　群馬県　千葉県　岐阜県

山形県　宮崎県　高知県　新潟県

バイオテクノロジーの結果生まれた LA ユリ
色の豊富さ、ちょうど良い大きさで使いやすさ抜群です！
ご家庭で飾っていただければ、つぼみが咲く姿に
元気をもらえるはず♪

LA：ハイドパーク

参考資料

柴田道夫　（2016）「花の品種改良の日本史」悠書館
今西英雄　（2006）「ユリをつくりこなす」農文協
農山漁村文化協会　編　「最新農業技術　花卉 vol.10」

画像提供

ふかや農協様　株式会社中村農園様

株）大田花き
品質カイゼン室